

広田まゆみの約束チェック

2010年3月19日現在

【約束1】北海道を一人ひとりが「助け合う」共生の大地にする。

約束	達成度	現状
(1) 障がい者差別禁止条例の制定	◎	議員立法で『北海道障がい条例』を制定(2010年4月から完全施行)。引き続き運用の改善に努力。
(2) 共生教育の早期実現 ① 20人以下学級の実現	○	2009年第2回定例議会で質疑。30人以下学級でも、現行制度では、道費単独で約80億円の財源が必要との教育長の答弁あり。市町村支援も含め、財源の問題などさらに検討要。
② 障がいを持つ子の誕生の瞬間からの親のサポート体制づくり	△	英国の障がいを持つ子の親の団体が、当事者の支援プロジェクトや専門家の育成に関わるプロジェクトを事例に質疑。保健師、医師、教職員と連携した相談体制の抜本的な見直しが必要。
③ 学校施設のバリアフリー化	○	公立学校における施設のバリアフリー化は市町村立分で平成19年度77.6%から84.5%に改善。道立高校もエレベーターの配置は15%以下と低いが他はほぼ100%。 詳細はブログに紹介
(3) 介護保険制度等の見直しにむけ、活動します ① 社会保障制度の抜本改革のために政権交代を実現	○	政権交代により、公共事業約18%減、社会保障費約10%増の「いのちを守る」予算が成立。しかし、その後、首相の交代、政治とお金の問題など、中央政府の社会保障制度改革はまだ途上。引き続き社会保障制度の抜本改革を求める。
② 地域のたすけあいのしくみづくりの研究、実践	○	「新しい公共」の道庁のなかでの推進体制の確立を関係部に質疑。島根県「なごみの里」など実践例を視察。行政だけに頼らない地域の問題解決を雇用につなげるしくみづくりに挑戦予定。次の4年間の重点課題とする。
(4) 弱者とされた人を弱者のままにおかない カウンセリングなどの体制整備 ① ピアカウンセリングの普及と実践	○	ピアカウンセリングとは、対等と同じ背景を持つ人たちが話しを聞きあうこと。毎週金曜日、親どおしのピアサポートグループ「親の時間」のみなさんによる、子育てカウンセリングからまず、実施中。
② 夜間中学の制度保障	○	道庁内の窓口を明確にし、現在、札幌市では、中央区向陵中学校の使用を許可。

【約束2】北海道を都市と農村が「支えあう」共生の大地にする。

約束	達成度	現状
(1) 産「商」協働のモデル地区として白石区の活性化をめざす ① 生産者と商店街・中小企業のネットワーク	△	地元の本郷通商店街に北竜町の減農薬米を紹介するなど、小さなとりくみは、はじめましたが、しくみとしては、まだ提案できず。早稲田商店街の震災安全パッケージや、長沼町で実践されているCSA(500戸の消費者が1戸の農家を支えるしくみ)などを調査、実施に向けて検討中。
(2) 都市と農山漁村が「食」の大切さを共有する ① 地域や学校での食育の充実 ※教室炊飯などの実施	○	高知県南国市の教室炊飯の事例など2009年第2回定例議会で質疑。学校教育法の壁や、農水省の補助事業が万全でないことから全国的にも普及せず。今後改めて、学校給食の意義・あり方そのものも含め検討予定。
※農作業ボランティアコーディネート	△	雇用対策の観点からも、議会で質疑してきたが、従来の農業政策の常識と異なった就労のしくみ、雇用形態、人材育成のしくみ、中間支援組織が必要。さらに継続して取り組み予定。
② グリーンツーリズムの推進	△	全道のグリーンツーリズムの実地調査を予定したが、浜頓別町の実施。アンケート調査のみにとどまる。NPO法人地球友の会のチャリサーチによる調査に協力。
(3) 北海道のセールスマンとして道産品のPRをする	○	運営委員を務める「食農わくわくねっとわーく北海道」の協力で、NHKの「ふるさとの食日本の食全国フェスティバル」に参画し、北海道の豆、札幌黄のラーメンなどをPR。来年度も継続予定。
(4) 新幹線よりも地域公共交通の強化を重点にとりくむ	○	北海道公共交通活性化ビジョンについて、二度にわたって質疑し、赤字補填対策のみではなく、利用促進のための支庁単位の協議の場の強化を提案。新幹線については会派での協議を要請中。

【約束3】北海道を地域主権の最先端の大地とする。

約束	達成度	現状
(1) 道庁・道議会の徹底改革に挑戦する ① 道庁、道議会の情報公開	○	議員(国会議員を含む)、道庁職員OBなどの道政へのはたらきかけの公開要綱の策定を予算特別委員会、一般質問で知事にも質してきたが、取り組む気がなし。議員立法で行うべきと判断。

② 道議会の役割、あり方について徹底討論する

- ローカルmanifest推進議員連盟北海道ブロック運営委員 議会改革PT全国副会長となる。超党派で議会改革のための共通manifest策定のため議会改革セミナーを継続開催中。

■インターネット

質疑事項はブログにほぼ全文掲載。活動状況もほぼ毎日更新。
メール通信、ほぼ2週間に1度発信。

(2) 道政、道議会と道民のみなさんの架け橋となる

- ◎ ■サロンの開催
道政相談会、情報交流サロンをそれぞれ月1回実施。

■道政報告の発行

ひろまる通信 年4回(定例会ごと)
凸凹通信(メール通信を紙媒体で)ほぼ月1回。

(3) 「白石」を民主主義、まちづくりの学校・寺子屋のような地域にする

- フリースクールV. Oさんの協力を得て、「白石いいとこ探検隊」によるまちの文化や産業の歴史調査を開始。まちづくり寄席を実行委員会形式でスタート。銭湯、喫茶店、図書館など地域活性化の財産を有効に活用する実践をしていく。